

# 生化学セミナー

## —大学院講義のお知らせ—

日時 平成27年10月28日(水)  
17時~19時

場所 藤井節郎センター2階 多目的室(1)(2)

演題 「細胞膜を曲げるタンパク質ファミリーの生理機能」

講師 伊藤 俊樹 先生

神戸大学  
自然科学系先端融合研究環境イノベーション研究センター  
生体膜機能研究分野 教授

いとう・としき。1971年生まれ。  
東京大学大学院理学系研究科博士課程修了。  
東京大学医科学研究所助手、Yale大学医学部博士研究員、  
東京大学医科学研究所助教授、神戸大学大学院医学研究  
科准教授を経て、2013年より現職。



伊藤俊樹先生は、イノシトールリン脂質を中心としたシグナル伝達と細胞骨格制御の研究で世界的に有名な竹縄忠臣先生の研究室で研究を始められています。その後、「細胞膜を曲げる」活性を持つタンパク質領域「F-BAR ドメイン」を見出され (Itoh et al. *Dev. Cell* 2005)、このドメインが細胞膜の形状変化とアクチン細胞骨格の動的作用を結び付けるキーファクターであることを証明されています。今年になって、F-BAR ドメインを持つ FBP17 が「細胞膜の張力」に依存してアクチン重合を促す「膜張力センサー」として機能し、細胞運動の極性を決定することを発表されましたので (Tsujiita et al. *Nat. Cell Biol.* 2015)、そのホットな話題を今回の大学院講義で提供していただきます。奮ってご参加ください。また、午後1時から医学部基礎第2講堂で、「イノシトールリン脂質とシグナル伝達」について、医学部2年生への学部講義もしていただきますので、そちらにも興味がある先生、学生さんは是非参加してください。

連絡先：医科学部門 生化学分野  
佐々木 卓也 (内線 9223)